



2019年度（平成31年度）を迎えて

CTF 松阪も 4 月から新年度を迎えます。

おかげさまで会員皆様のご支援により無事事業を進めることができました。ありがとうございます。

新年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

さて 2019 年度（平成 31 年度）の CTF 松阪通常総会が 5 月に開催されます。詳細につきましては、別途ご案内（5 月上旬）を差し上げますので、多数ご参加いただき、建設的なご意見をくださいますようお願いいたします。

以下に 30 年度の活動実績を報告させていただくとともに、今年度もご支援・ご協力をお願いいたします。

CTF 松阪 平成 30 年度活動実績

☆障がい者対象個人向けパソコン講座開催	41 回	受講者延 221 名
☆会員スキルアップ研修会開催	3 講座	受講者 20 名
☆作って楽しむパソコン講座開催	2 講座	受講者 20 名
☆会員親睦会開催	1 回	参加者 6 名
☆障がい者・難病患者宅 IT サポート訪問	26 回	
☆IT 関連事業受注による障がい者就労・自立支援	6 件	
☆会報（CTF 通信）発行(月刊)	12 回	



新元号

平成もあとわずかとなりました。新元号は何になるのでしょうか。そもそも元号は「大化」から始まり平成まで 247 の元号が定められ、1300 年以上にわたって途切れずに続いてきました。

江戸時代までの元号は災害や遷都、戦乱などさまざまな理由で改元されてきたようです。一番短いのは 2 カ月 14 日間の「暦仁」、逆に最も長いのは「昭和」の 62 年 13 日間です。CTF 松阪の皆様も昭和世代ですね。

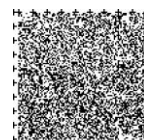
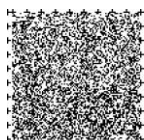
元号が 1 人の天皇在位中は 1 元号になったのは明治時代からで、以前のように頻繁に変えるのはやめるべきと考え、中国の明時代の制度を取り入れたようです。

元号については、西暦の方が便利だとか合理的だといった理由で、これまでたびたび廃止論が唱えられてきました。なかなか合理的だけではかたづけられないこともあるようです・・・



UP

今月号は文字数が多いので、すべてのページに SP コードを 2 個付けてあります。先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。



人工知能（AI）とは

人工知能（AI：Artificial Intelligence）。昨今新聞やニュースを眺めていて、この言葉を目にしない日はありません。Google や Apple、Amazon、LINE など名だたる企業が AI 事業に乗り出し、技術力を競い合っています。

人工知能と聞いて、映画『ターミネーター』の人間と瓜二つのロボットを思い浮かべることもあると思います。ですがいま主流の人工知能は「人間の知性を丸ごと再現しようとする立場」と、「部分的に再現しようとする立場」に分かれています。主流は後者のようです。

身近なところでは、iPhone に内蔵された音声アシスタント Siri、Amazon の「あなたにおすすめ」、などスマホやさまざまなロボットにも人工知能が搭載され、浸透しています。このように、あらゆるタイプの人工知能がすでに生活に入り込んでいるのです。

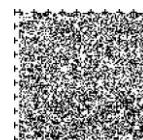
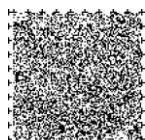
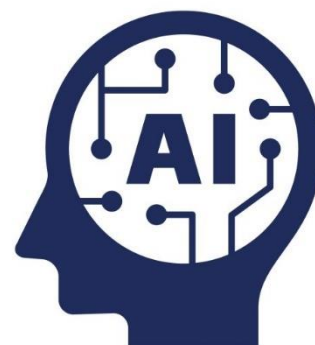
それにしても、人工知能はどうしてこれほどの進化したのでしょうか。理由のひとつは、「機械学習」という仕組みです。コンピュータの演算能力の向上やインターネットの普及により、これまでは難しかったビッグデータの解析が可能になりました。機械学習では、この膨大なデータに潜む法則性を AI に発見させ、統計的に最適解を抽出する方法です。

また「ディープラーニング（深層学習）」と呼ばれる技術です。これは、人間の脳の構造をモデルにした学習方法です。ニューロンやシナプスといった神経回路をコンピュータ上に再現し、正しい答えを出した回路を強化するように設計されています。

近い将来には AI 技術を駆使した自動運転車の時代もやってきそうです。トヨタをはじめ多くの企業で開発が進められています。まだまだ法的整備などの課題もありますが、実用化すれば無人タクシーなどが街中に溢れるだろうと思われまます。また車が GPS 上でマッピングされることにより、事故や渋滞が減る可能性もあります。

一方で、空前の AI ブームに待ったをかける声も聞かれます。なかでも「今後 10~20 年のあいだに、日本の労働人口の 49% は人工知能に代替される」という野村総研とオックスフォード大学の共同研究には、各業界から悲鳴が上がったと言われています。

こうした“人工知能フィーバー”の先に待ち受けるのは、2045 年に起こるといわれる「シンギュラリティ」です。人工知能が発達し、人間の知性を超えることによって、人間の生活に大きな変化が起こるという概念を指します。人類が AI をつくっていた時代は終わり、AI が AI をつくるフェーズへと移行するらしいです。つまり私たち人類は、テクノロジーを受け取る側に回されるということでしょうか・・・





活動報告

【3月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(5日、12日、19日)



活動予定

【4月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

9日、16日、23日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30



徒然なるままに

「ソメイヨシノ」の寿命

日本列島に春の訪れを告げる桜の開花が始りお花見シーズン到来です。市内にも松坂城跡や中部台運動公園などのお花見スポットがたくさんあります。

桜といえば「ソメイヨシノ」が定番ですが、近年サクラの名所地がなくなる・・・などという報道を時々耳にします。「ソメイヨシノ」の寿命が60年と言われているので、戦後間もなく植えられたものが寿命を迎え、衰弱して枯れてしまうというのがその根拠になっているようです。



桜の木の倒木による被害軽減として「ソメイヨシノ」の後継品種「ジンダイアケボノ」への植え替えを推進している自治体もあるようです。この品種は姿が「ソメイヨシノ」に似ておりまた病気にかかりにくいとされる特徴があります。

「ソメイヨシノ」は江戸時代、現在の東京都豊島区駒込にあった染井村の植木屋が「吉野桜」として販売したもので、葉に先がけて一斉に花が咲くのが好まれ、全国に瞬く間に広まったとのこと。

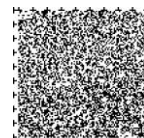
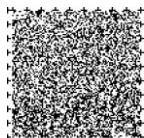


話はそれますが、気象庁が桜の開花予想の基準としているのもソメイヨシノです。全国にたくさんの木があるという理由もありますが、接ぎ木などで増やすために遺伝的にほぼ同じで、気候の変化による開花の様子が均一なためのようです。

昔から「桜切るバカ、梅切らぬバカ」という言い伝えもあり、切り口から病気に感染源するのを防ぐために傷つけず育てるのが常識でしたが、弘前城では1960年頃からりんご栽培のノウハウを生かして積極的に剪定する方法を採用しているとのこと。その結果、木の勢いを保ちたくさんの花を咲かせることに成功しとのこと。

以来、剪定方法に加えて殺虫剤の使い方や肥料の与え方、土の入れ替えなども工夫する「弘前方式」の管理法を取り入れたことで、元気を取り戻していたった全国各地のソメイヨシノもあるようです。どうやら「寿命60年」という説は、何も対策を取らなかった場合の話といえそうです。

枝を折るのは問題外として、お花見のときも枝や花に煙がかかるバーベキュー、雑菌を繁殖させるゴミの放置、さらに、木の下で遊んだりする何気ない行動も、根を傷め、木を弱らせる原因に。美しい花を少しでも長く楽しむためには、一人ひとりのちょっとした心がけや気配りが必要なようです。





永平寺ですよ

久々に永平寺に行く機会がありましたのでここに書いてみます。あの～ちなみに私は曹洞宗の檀家ではありませんがあくまでも観光目的です。

2月の中旬に訪れましたので福井は雪がちらほらと舞っていました。そういえば今年から北陸自動車道はチエン規制が強化された区間でしたよね。ちょっとチエン持ってるの。いや～そんなの持ってるはずがないじゃないですかという返事にあきれながらも車は進むのでした。

以前にも永平寺にきたことがあのですが何分昔のことなので、こんなくねくね道でしたたかね～ちょっと聞いてる、段々山の中に入っていくですけど大丈夫？ 道あってる？ Google ナビは怪しいのよ信じちゃダメよ と何かしゃべってないと酔いそうなんですけど。

やっとのことで永平寺門前町に到着です。人少ないねー。貸切だわ。シーズンオフなのかしら。雪の心配いらないのだけど。市営の駐車場に止めてここから歩きです。え～もっと近くに止めてくださいな。歩くの結構かかると。あんだね～お土産買う気あるの、ひやかしじゃだめよ無料で駐車できないんだからね。買います買います。もちろんですキラキラ なんとかお寺の近くの土産物店の駐車場にたどり着きました。ここから歩きます。

お～永平寺だ。拝観料 500 円です。やっぱり人少ないね。以前来た時はすいぶん並んでいた記憶があるんですが。あんだ TD と間違っていない？ さすがそこまで間違っていないと思うよ。よく言いますね。ついさっき話したことも覚えてない人が。

若いお坊さん多いですね。しかもイケメンですけど。あとついてっちゃんだめよ。拝観順路方向だからいいじゃないですか。そうゆうあなたも目が追いかけてますよ。エヘヘ

やっぱり雪残ってますね。こんな困り昔なかったような気がするわ。周回するのに 1 時間ぐらいかかるって聞いてたけど割と早く拝観できましたね。お～こんなところに売店ありますよ。ボケ防止のお札売っているけどおひとついかが？ 私美肌効果のお札をいただきます。え～そんなお札どこにありました？ 瓦のご寄進 1 口 1000 円ですがいかだでしょうか イケメンお坊さんからのささやきに、じゃ 100 口でお願いしますわともうちょっとで返事するところでした。新手のロマンス詐欺かいな危うし危うし。帰りにゴマ豆腐と羊羹、永平寺煎餅をお土産に持って来ました。アハハ皆さんの分までではないですよ。それではまたよい旅を。



編集後記

平成最後の C T F 通信になります。今の段階ではまだ新元号が何になるかわかりませんが次号から新元号の C T F 通信になります。

3月は年度末のため CTF 松阪をはじめ自治体などの総会が近づいてきましたので資料作りなど忙しくなりますし、そろそろ田んぼの準備もしなくちゃいけないし・・・

花冷えなどまだまだ寒い日もありますが、体調には気をつけてください。

CTF 通信第 193 号

2019 年（平成 31 年）4 月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 山 田 則 男

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

